

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
介護過程Ⅰ Process Planning for Care WorkⅠ		1年	後期 1／2	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		
1単位	演習	選択 (介護福祉士養成課程必修)		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
和田晴美	福祉棟 2 F	月・火・水 (授業時間以外)	授業中に指示します	
授業の概要				
介護過程は、学んだ知識・技術を統合し、利用者個々のニーズを的確に把握して、求められる支援を導き実践する思考過程である。介護過程Ⅰでは、その思考過程が可能となるような、基本的な能力を養うことを目的とする。介護過程の意義や目的をふまえ、利用者の情報収集から計画立案、実施、評価、修正に至る一連の流れを理解できるように取り組む。				
授業の到達目標				
①介護過程を行う目的および、構成要素を理解できるようにする。 ②介護過程は、個々のニーズを的確に把握し、介護を計画・実施・評価・修正することの連続であることが理解できるようにする。 ③紙上事例を用いて、アセスメントから計画立案までを展開できるようにする。				
授業の方法				
介護過程の目的、構成要素について理解し、事例をもとに情報収集から実施・評価までの一連の介護過程を展開することで、「介護過程に沿った考え方」を学ぶ。学生間で互いに情報収集を行うことで、実施時の留意点を考えながら実践できるように取り組む。さらに、紙上事例を用いて計画立案までを行う中で、適宜課題の提出を課す。課題は添削し学生に指導後返却する。これを繰り返す中で、介護過程の展開が理解できるように進める。				
学習の成果				
①介護過程を行う目的と、介護過程の構成要素を列挙することができる。 ②個々のニーズを把握するための、情報収集源がわかり、情報収集の方法を説明することができる。 ③アセスメントから評価・修正に至る一連の介護過程の流れを理解し、紙上事例を通して展開することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業のねらいと進め方・成績評価の方法・受講時の留意点など） 介護過程とは何か【講義】			
第2回目	介護過程の意義・目的・目標、介護過程の構成要素【講義】			
第3回目	アセスメント① 情報とは 観察とは 他者を観察すること【講義・演習】			
第4回目	アセスメント② 情報収集 枠組みを使った情報収集【講義・個人ワーク】			
第5回目	アセスメント③ 情報整理 アセスメント1・2の記入【個人ワーク】			
第6回目	アセスメント④ 情報整理 ICFの枠組みに沿った情報の整理【個人ワーク】【課題提出①】			

第7回目	アセスメント⑤ 情報の分析・解釈・統合 情報の関連付けと統合【講義・個人ワーク】	
第8回目	アセスメント⑥ 情報の分析・解釈・統合 関連図の構成【講義・個人ワーク】	
第9回目	アセスメント⑦ 情報の分析・解釈・統合【個人ワーク】【課題提出②】	
第10回目	アセスメント⑧ 情報の分析・解釈・統合、優先順位の決定【グループワーク、発表とまとめ】	
第11回目	計画立案 目標の設定と方法の選択【講義・個人ワーク】	
第12回目	実施・評価とは【講義】	
第13回目	事例による介護過程の展開① アセスメント1・2の記入【個人ワーク】	
第14回目	事例による介護過程の展開② ICFの枠組みで情報の整理【個人ワーク】	
第15回目	事例による介護過程の展開③ 分析・解釈・統合【個人ワーク】【課題提出③】	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	以下の視点で評価する。授業の準備が整い、講義・個人ワークでは集中しており、疑問点は質問して解決できること。ディスカッションでは他者の意見を傾聴し、自ら積極的に発言して学びを深められること。
レポート	40%	評価基準Sは、情報の分類が適切であり、情報を基に分析・解釈が十分に行われ、課題・ニーズの表現が適切であること。学習した内容や文献を参考にしながら計画立案し、期限を厳守して提出できること。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験	40%	「紙上事例による介護過程」を試験とし、介護過程評価表に従って、①情報 ②分析・解釈 ③課題・ニーズ ④目標 ⑤計画の各要素の内容を評価する。評価基準Sは授業で説明する。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
新・介護福祉士養成講座 第9巻 介護過程 中央法規出版		
履修上の心得・ルール		
講義・演習とも積極的に参加すること。やむを得ず欠席した場合は、必ずその部分の学習を補い、届出等は速やかに提出すること。課題の提出を繰り返して行うので、期限を厳守して提出すること。教室での飲食、机上への飲み物の放置も禁ずる。補習時間を設けるので、積極的に参加し、介護過程展開方法について理解を深めるよう努力してほしい。この授業は後期・前半のクォーター科目である。週2回の授業となるので、注意すること。		